

① 恩給年額の増額

昭和51年7月から、公務員給与の水準及び改善傾向を分析した結果に基づき、恩給年額計算の基礎となる仮定俸給の年額を6段階に区分し、当該区分に対応した率及び額により増額する措置がとられた。

増額改定の時期は、昨年より1ヵ月繰り上げることとした。

② その他の主な改正

- ア 普通恩給等の最低保障額を引き上げること。
- イ 普通扶助料について、扶養家族加給を増額するとともに、遺族である寡婦に、定額を加算する制度を創設すること。
- ウ 長期在職の高齢者（70歳以上）に支給する恩給の算出率の特例。
- エ 60歳以上の旧軍人等の加算減算率の緩和
- オ 夫に対する扶助料の支給条件の緩和
- カ 旧満洲農産物検査所職員期間の通算措置

(3) 退職手当

昭和51年度における退職手当の裁定、支給額の概数は、次のとおりである。

学校種別	人数	金額
小学校	413人	4,140,318千円
中学校	185	1,520,908
高等学校	110	1,309,170
盲・ろう学校	11	50,351
養護学校	7	61,225
教育庁	4	69,924
計	730	7,151,896

6 福祉事業

(1) 県費による事業

① へき地教職員芸術鑑賞会（6年目）

県人事委員会指定のへき地3級以上の学校に勤務する教職員に、高度な芸術文化を鑑賞する機会をあたえ教養の高揚を図るため、県文化センターに招待して次の鑑賞会を実施した。

期日	鑑賞種目	参加人員
8月27日	レニングラード・バレエ団「白鳥の湖」	37人

② インフルエンザ予防接種（5年目）

県立学校教職員及び教育庁職員のうち接種希望者について、校医又は保健所、その他最寄りの医療機関などにおいて予防接種を実施した。

	実施校	実施人員
県立学校	73校	1,967人
教育庁関係		163人
計		2,130人

(2) 県費と共済組合費による事業

① へき地巡回検診

ア 検診車による検診（10年目）

県人事委員会指定のへき地学校に勤務する教職員及びその被扶養者を対象として、公立学校共済組合東北中央病院の巡回検診車に医師及び医療技師が同乗して、17市町村に27ヵ所の検診会場を設定し、延べ20日間検診車を運行して検診を実施した。

検診項目は、聴打診、血圧測定、胃部・胸部間接撮影、尿検査のほか、医師の診断により心電図及び投薬等を行った。

実施状況は次のとおりである。

管内	該当者 (A)	希望者 (B)	受診者 (C)	受診率		胃		胸部		心電図		血圧		尿	
				C/A	C/B	要注意	要精検	要注意	要精検	要注意	要精検	要注意	要精検	要注意	要精検
県中	94	91	(2) 60	63.8	65.9	[7.7] 4	[11.5] 6	[1.8] 1	[1.8] 1	[17.2] 5		[13.3] 8		[5.0] 3	
県南	76	75	(1) 63	82.9	84.0	[8.5] 4	[12.8] 6	[1.7] 1		[19.6] 9	[6.5] 3	[7.9] 5	[3.2] 2	[9.5] 6	[1.6] 1
会津	248	209	(3) 184	74.2	88.0	[21.7] 36	[6.6] 11	[3.0] 4	[0.7] 1	[15.2] 14	[4.4] 4	[16.8] 31	[1.1] 2	[1.6] 3	[4.9] 9
南会津	250	238	(4) 217	86.6	91.2	[14.4] 29	[5.9] 12	[0.5] 1	[2.0] 4	[57.7] 15	[26.9] 7	[12.0] 26	[7.4] 16		[0.5] 1
相双	263	226	(1) 174	66.2	77.0	[14.2] 20	[3.5] 5		[0.6] 1	[9.3] 5	[3.7] 2	[21.3] 37	[1.7] 3	[0.6] 1	[1.1] 2
いわき	100	100	(1) 71	71.0	71.0	[10.3] 6	[13.8] 8			[6.0] 4	[3.0] 2	[19.7] 14	[2.8] 2	[5.6] 4	
計	1,031	939	(12) 769	74.6	81.9	[14.9] 99	[7.2] 48	[1.0] 7	[1.0] 7	[16.6] 52	[5.7] 18	[15.7] 121	[3.3] 25	[2.2] 17	[1.7] 13

(注) 受診者の( )は、被扶養者である。  
検査項目ごとの[ ]は、受診者に対する率である。